

呈 覧	市 長	副市長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	係 員
	*	*	*	*				

会 議 報 告 書

令 和 7 年 3 月 2 4 日

防災安全課 防災危機管理官

鎌 田 俊 郎

件 名	令和 6 年度名取市防災会議
日 時	令和 7 年 3 月 24 日（月） 10：30 ～ 11：12
場 所	市役所 6 階第 1 会議室
出席者	名取市防災会議会長及び委員等 40 名（別紙出欠名簿のとおり） 防災安全課 佐々木課長、門脇課長補佐、永谷防災係長、守屋技術主査 丹野技術主査、長谷川主事、鎌田
内 容	○名取市防災会議 進行：門脇課長補佐 1 開 会 2 議 事 1）名取市地域防災計画の修正案について 永谷防災係長より資料に基づき説明 質疑①、資料 4「水防法に基づく要配慮者利用施設の一覧」で、施設数のかなりの数が減っている。これは福祉避難所にあたるものだと思うが、日常的に福祉避難所に関しての整備の支援はなされているのか。例えば人的支援だとか設備の問題だとか、施設にはすでに入所されている方がおり、そこに避難者が入ることになった時に、それへの対応をしているのかどうか。今回このように多くの施設が減っているわけだが、どういう要因なのか教えて頂きたい。

回答①－１、廃業による減である。福祉避難所への支援については、福祉部局と連携しながら、備蓄だったり、防災計画上の支援について詰めているところ。

回答①－２、廃業が多いのは高齢者福祉の部分だと思うが、需要が落ち着いているのかなと考える。障害とかこども関連は減ってはいないのだと思うが、これはという原因の把握はない。

質疑②、私たちも東日本の時は避難所支援を行い、その時に障害のある方たちも避難してきた。本来福祉避難所の方が安心だが、施設の方が人的支援もないし、設備の面でも不安なので受け入れられないという話があり、そういうことに対する行政的な支援は必要ではないかとあらためて思っていて、このように沢山の施設が減ったということについては、大丈夫なのかという不安もあるがいかがか。

回答②－１、高齢者施設の減少については、国の制度の見直しだとか需要と供給のバランスなど、そういったことが背景にあるのかなと。市としては、きめられた制度の中でしっかりとやっていくしかないと思っている。いざという時の、特に障害のある方の避難については、福祉避難所と指定福祉避難所というものがあって、一般の避難所というのは一旦避難して頂き、そこから施設と調整し、受け入れ可能であれば移動して頂く形になるので、できればあらかじめ指定させて頂いて、何かあった時に何名受け入れられるかという体制を整えておきたいが、これが施設との調整の中で難しいところ。

回答②－２、今、福祉避難所についてお願いし、施設に何ができるか、そのために何が必要かということを何回か打合せしているが、これさえあれば大丈夫、のようなものはなくて、備蓄はどうしようかなど小さな部分はよいが、なかなか広げていくのは難しいところ。

その後、回答について同意を得た後に、議事の１）について承認された。

	2) その他 (事務局より) その他議事1：4月1日から市の組織が改編される。災害対策の実施担当などに変更が生じるが、この件に関する修正は今後行うものとし、細部は事務局に一任願いたい旨説明した。 質疑なし、承認された。 その他議事2：3月26日にプラス(株)との間で、災害時応援協定の締結について予定しており、本件を追加することについて事務局に一任願いたい旨説明した。 質疑なし、承認された。 4 閉 会 以 上
--	---